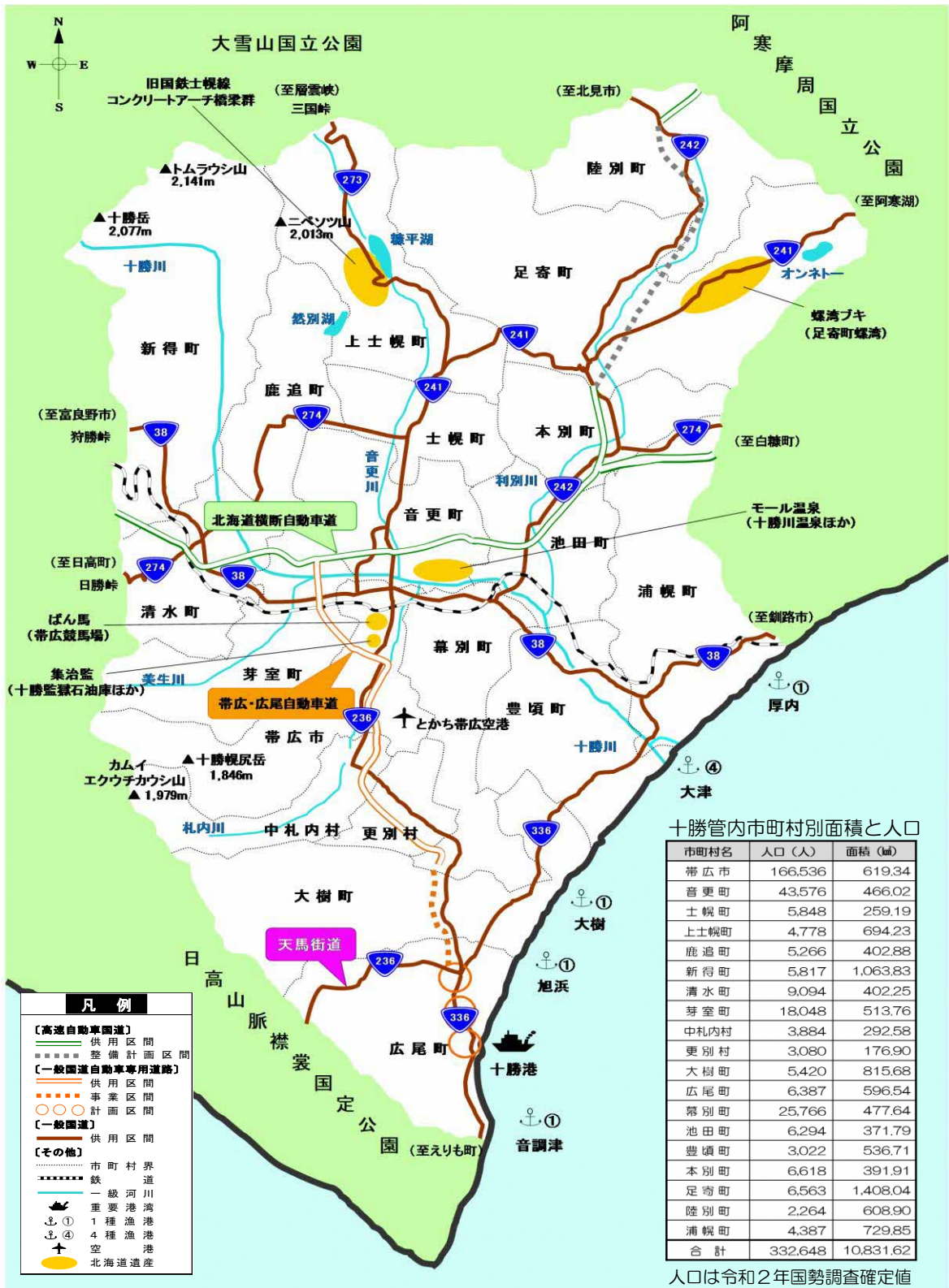


十勝18町村の紹介集



とちか



令和5年2月24日作成

十勝町村会



十勝の概要

十勝管内は、1市16町2村で構成され、全道面積の13%を占めており、岐阜県とほぼ同じ面積を有しています。

十勝の総人口は、332,648人(国勢調査確定値:令和2年10月現在)で全道人口(5,224,614人)の6.4%を占めています。

産業は、農業・林業・漁業などの第1次産業が盛んで、カロリーベースでの食料自給率が1,220%を誇る日本を代表する食料基地としての役割が期待されています。

十勝の気候

十勝地方は、年間を通じて、全国的にも有数の日照時間に恵まれ、特に秋から冬にかけては「十勝晴れ」と呼ばれる晴天が続きます。

夏は、海岸部では海霧が立ちこめ日中の気温があまり上がりませんが、内陸部では比較的高温になります。

冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天の日が続きます。



十勝の歴史

「十勝」という地名は、管内を流れる十勝川をさすアイヌ語「トカプチ」からといわれています。それは「乳」を意味し、川口が二つ乳房のように並んでいることに由来しています。

北海道の開拓が、食料確保と北の守りという目的のもと官主導が進められる中で、十勝の開拓は、明治16(1883)年に静岡県から入植した晩成社をはじめとして、富山、岐阜など本州からの民間の開拓移民により進められました。

先人たちは、山深い自然や大雨で氾濫する十勝川と立ち向かい、不屈のチャレンジ精神で幾多の困難を乗り越え、少しずつ畑を開いていったのです。





町長：小野 信次

Data

郵便番号：080-0198
住所：音更町元町2番地
TEL：0155-42-2111 FAX：0155-42-2117
URL：https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/

アイヌ語の「オトプケ」（毛髪が生ずるという意）から転訛したもので、音更川、然別川など河川がたくさん流れているところから付けられたと言われている。



十勝川白鳥まつり 彩凧華
(1月下旬～2月下旬)



道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」
(令和4年4月移転オープン)

■主なイベント

- 十勝が丘展望台シーニックカフェ (7月上旬～9月下旬)
- 「花風景」ハナックと花ロード (6月下旬～7月下旬)
- モール温泉夢ホテル鑑賞会 (7月上旬～7月中旬)
- みのり～むフェスタ(10月上旬)
- オータムフェスタ in 十勝川 (10月下旬～11月下旬)
- 十勝川白鳥まつり 彩凧華 (1月下旬～2月下旬)

■特産品

- 音更大袖振大豆 ○小豆 ○にんじん ○ブロッコリー ○小麦粉 ○なたね油
- チーズ・バター ○すずらん和牛 ○音更ら～麺(ブロッコリー麺)
- 十勝川モール温泉化粧品・入浴剤

■観光名所

- 十勝が丘公園(花時計ハナック) ○十勝エコロジパーク
- 家畜改良センター十勝牧場展望台・白樺並木 ○十勝が丘展望台
- 道の駅おとふけ ○道の駅ガーデンスパ十勝川温泉

町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。
国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょ・にんじん・ブロッコリーなど、数々の農産物を産み出す豊かな大地と、北海道遺産にも選定された「モール(植物性)温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。
また、市街地には、大型商業施設や飲食店、コンビニなど様々な商店があるほか、各種医療施設、社会福祉施設など、日常の生活環境が整っています。
さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めるなど、豊かな自然と快適な都市空間が調和した「住みよいまち」、「選ばれるまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。



町長：高木 康弘

Data

郵便番号：080-1292
住所：士幌町士幌225番地
TEL：01564-5-2211 FAX：01564-5-4304
URL：https://www.shihoro.jp/

“広大な土地”を意味するアイヌ語の「シュウウォロー」が訛って変化して名付けられたと言われている。

■主なイベント

- しほろ7,000人のまつり(8月) ○ホテル鑑賞会(8月)
- しほろ収穫祭(10月) ○Shihoro on ICE(2月)

■特産品

- しほろ牛 ○乳製品 ○シーベリー ○ミニトマト
- じゃがいも加工品(スナック菓子、コロッケ、片栗粉など)

■観光名所

- 士幌高原ヌブカの里 ○道の駅ピア21しほろ
- 道の駅しほろ温泉

清澄な水と空気、そして肥沃な大地。士幌町は自然の恵みに培われた実り豊かな純農村地帯で、じゃがいも、小麦、豆類、てん菜、スイートコーンなどの農産物が生産されています。また、肉用牛、乳用牛の飼育なども盛んです。士幌町では、今も未来も輝き続ける「しほろ」を目標とした「輝く未来へ しほろ創生」をテーマに町づくりを進めています。



奇跡の果実 シーベリー



似-ヅ キャラクター 大地君



士幌高原ヌブカの里



Shihoro on ICE



しほろ7000人のまつり



しほろ収穫祭



しほろ牛剣先ステーキ



道の駅ピア21しほろ



町長：竹中 貢

Data

郵便番号：080-1492
住所：上士幌町字上士幌東3線238番地
TEL：01564-2-2111 FAX：01564-2-4637
URL：https://www.kamishihoro.jp/

昭和6年士幌村より分村し、士幌村の川上に位置していたため、「上士幌村」となった。



バルーンフェスティバル

■主なイベント

○バルーンフェスティバル(2・8月)

■特産品

○十勝ナイタイ和牛 ○十勝ハーブ牛 ○十勝石工芸品
○ハチミツ ○ミルクジャム ○アイスクリーム
○十勝石工芸品 ○ジェラート

■観光名所

○ナイタイテラス ○ぬかびら源泉郷
○糠平湖 ○三国峠
○旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)
○道の駅かみしほろ

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、北海道遺産のアーチ橋梁群、熱気球の町として全国的に有名なまち。自動運転バス・ドローン配送等、ICTを取り入れた脱炭素化を積極的に進めています。

また、移住定住・ワーケーション・二地域居住・農林商工連携を推進し、ふるさと納税をはじめとした「都市と農村の交流と対流」のまちづくりのほか、基幹産業である酪農・畜産業の特性を活かし、バイオマス資源によるエネルギーの地産地消にも取り組んでいます。



ドローン配送実証実験



ナイタイテラス



タウシュベツ川橋梁(冬)



町長：喜井 知弘

Data

郵便番号：081-0292
住所：鹿追町東町1丁目15番地1
TEL：0156-66-2311 FAX：0156-66-1020
URL：https://www.town.shikaoi.lg.jp/

アイヌ語の「クテクウシ」、「鹿を追う」という意味で、昔アイヌはこの土地の谷間に柵を設けて鹿の群れを追い込み、簡単に捕らえたといわれている。



然別湖



白蛇姫まつり

鹿追町の然別湖は道内一の標高を誇る自然湖で、夏は白蛇姫まつり・秋は山々の紅葉・冬はしかりべつ湖コタンで四季を通じて人々が訪れます。

町内には国内最大級のバイオガスプラント2基を有し、環境に配慮した地域循環型農業を推し進め、そこから発生する余剰熱を活用した先進事業(マンゴーの試験栽培・チョウザメの養殖・ハウスでの野菜栽培)にも取り組んでいます。

また、バイオマス由来の水素を活用した、水素エネルギーの利活用実証事業への協力も行っていきます。

令和3年3月には2050年までにカーボンニュートラルを実現するべく「鹿追型ゼロカーボン宣言」を行いました。

ほかに、「花と芝生のまちづくり」として、地域住民だけでなく、観光客へも花と緑による潤いを届けています。

教育では幼小中高一貫教育として「地球コミュニケーション」(英語)、「新地球学」(環境)に取り組み、国際理解教育の一環として、鹿追高校1年生全員を毎年、姉妹都市カナダ・ストニブレイン町へ派遣しています。

また、「とちか鹿追ジオパーク」が2013年、管内初の日本ジオパークに認定されました。

■主なイベント

○しかりべつ湖コタン
(1月下旬~3月31日予定)
○しかおい花市(5月)
○白蛇姫まつり(7月)
○しかおい花フェスタ(7月)
○花火大会(7月)
○ふるさと産業まつり(9月)

■特産品

○そば
○鹿追焼き(陶芸品)
○アイスクリーム ○チーズ
○豚肉 ○オショロコマ

■観光名所

○然別湖
○然別峡
○神田日勝記念美術館
○福原記念美術館
○鹿追町ライディングパーク
○ジオパーク・ビジターセンター

新得町



町長：浜田 正利

Data

郵便番号：081-8501
住所：新得町3条南4丁目26番地
TEL：0156-64-5111 FAX：0156-64-4013
URL：https://www.shintoku-town.jp/

アイヌ語で肘、山の突出部分を意味する「シットク」に由来しています。新得山が佐幌川の方に張り出している地形を表したものとされています。



新そば祭り

■主なイベント

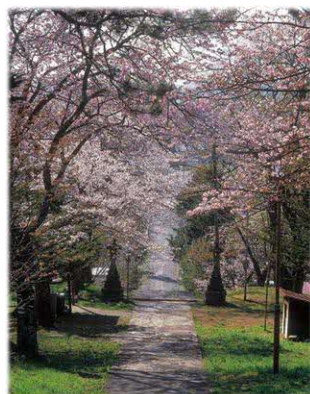
- 桜まつり(5月) ○ワイワイビアパーティー(7月)
- サマーフェスティバル(8月)
- 花火大会(8月中旬～下旬)
- 新そば祭り(9月)
- 大雪まつり(10月)

■特産品

- 新得そば ○新得地鶏
- エゾ鹿肉
- そば焼酎
- ナチュラルチーズ
- 原木しいたけ

■観光名所

- 狩勝峠 ○トムラウシ温泉
- 旧狩勝線跡 ○サホロリゾート
- ペアマウンテン
- エコトロッコ鉄道



新得山の桜

新得町は北海道のど真ん中に位置し、美しく雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれ、四季折々の風景や旬の食材、自然を満喫することができます。また、鉄道交通の要所であるJR新得駅があり、在来線はもちろん特急列車も全て停車するため、札幌市や新千歳空港へもアクセスがとてよよく交通の便に優れた町です。

特産品である「そば」は、新得町の昼は暖かく夜は涼しい内陸性の気候を活かして生産され、高品質な「そば」として全国的にも有名です。最も大きなイベントである「新そば祭り」は毎年9月に開催され、町内外からの出店者による「そば」を楽しもうと、2万人を超える来場者が訪れます。

2019年には、開拓120周年を迎え、また、NHKの朝の連続ドラマ「なつぞら」のロケ地となったことで、さらに活気溢れる町に成長しています。

清水町



町長：阿部 一男

Data

郵便番号：089-0192
住所：清水町南4条2丁目2番地
TEL：0156-62-2111 FAX：0156-62-5116
URL：http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/

アイヌ語で「ペケレ・ベツ」(明るい川)、「ペ・ペケレ・ベツ」(水・清い・川)。「ペケレベツ」と称されたこの地は、明るく清らかな流れという意味の「清水」に意識されました。



日勝峠第1展望台

■主なイベント

- 十勝若牛アスパラまつり(6月)
- 清流まつり(7・8月)
- 十勝清水肉・丼まつり(9月)

■特産品

- 十勝若牛 ○黒にんにく ○豚丼名人
- 鶏卵 ○グリーンめん
- 飲むヨーグルト ○牛とろフレーク
- かぼちゃ野郎(パイ菓子)
- 第九のまちしみず(クッキー) など



円山展望台

■観光名所

十勝清水四景+1

- 清水公園(パークゴルフ場) ○日勝峠第1展望台 ○円山展望台(円山牧場内) ○美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森

十勝平野の西部、日勝峠の麓に位置する道東の玄関口・清水町は、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆類・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。それらを加工する工場も多く、戦前から続く農産加工の町でもあります。

地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」や、温かい白飯にフレーク状の牛肉「牛とろフレーク」をかけた牛とろ丼は有名で、「牛(9)」「とろ(16)」の語呂合わせから9月16日を「牛とろの日」として、日本記念日協会から認定されました。

町民の文化・スポーツ活動も盛んで、アイスホッケーの町として知られるほか、町民合唱団による「第九」の合唱は40年以上に渡って続けられています。また、大河ドラマにもなった渋沢栄一のゆかりの地としても知られています。

2022年に「開町120年」を迎え、第6期清水町総合計画で掲げた「まちに気づく まちを築く とかち清水～想いをミライへ繋ぐまち～」に向けてまちづくりを進めています。

芽室町



町長：手島 旭

Data

郵便番号：082-8651
住所：芽室町東2条2丁目14番地
TEL：0155-62-2611 FAX：0155-62-4599
URL：https://www.memuro.net/

アイヌ語の「ムム・オロ・ベツ」に漢字を当てたもので、「泉や池から流れてくる川」を意味している。



新嵐山展望台

■主なイベント

- 氷灯夜(ひょうとうや)(2月)
- めむろまちなかマルシェ(8月)
- 発祥の地杯全国ゲートボール大会(8月)
- 収穫感謝祭(11月)

■特産品

- スイートコーン
- じゃがいも
- ニジマス加工品
- めむろワイン
- 十勝芽室コーン炒飯
- ビートオリゴ糖
- めむろごぼう
- メムロピーナッツ

■観光名所

- 新嵐山スカイパーク
- 芽室公園

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置する芽室町は、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした多くの企業が立地する東工業団地を有しています。また、町内には高速道のインターチェンジ(2箇所)や特急が停車するJRの駅もあり、交通アクセスに恵まれています。

芽室町では、「町民と行政の協働によるまちづくり」を掲げ、氷灯夜やめむろまちなかマルシェに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造など、町民の主体的な地域活動を原動力とした取り組みが盛んに行われています。かねてから、発達支援システムの構築などに力を入れてきましたが、近年では「誰もが当たり前前に働いて生きていけるまち」を目指し、農福連携を活用した障がい者就労支援の取り組みを進めています。

2021年に芽室町役場庁舎が、新しく生まれ変わりました。このシンボリックな庁舎を安全で安心な暮らしを支える拠点とし、さらなる住民サービスの向上に努め輝き続けるまち芽室を実現していきます。

中札内村



村長：森田 匡彦

Data

郵便番号：089-1392
住所：中札内村東1条南1丁目2番地1
TEL：0155-67-2311 FAX：0155-68-3911
URL：https://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/

札内川の語源であるアイヌ語で「乾いた川」を意味する「サチナイ」と、その中流に位置するという意味。



ピョウタンの滝(札内川園地)

■主なイベント

- 桜のある休日(5月上旬)
- やまべ放流祭(7月第1日曜日)
- なかさつ音まちプロジェクトコンサート
- スノーアート(2月)

■特産品

- えだ豆、えだ豆加工品
- 若どり
- 朝採りたまご
- チーズ

■観光名所

- 札内川園地
- 六花の森
- 中札内美術村
- 道駅のなかさつない



六花亭アートヴィレッジ
中札内美術村

日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に広がる「日本で最も美しい村」です。その清流を集め豪快に流れ落ちる「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策できる癒しの空間です。毎年多くの観光客が訪れ、夏はキャンプ場としても賑わいをみせています。

柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館などがあり、一日中芸術に親しむことができます。また、「道の駅なかさつない」は観光インフォメーション、情報コーナーのほか、レストランや物産販売所において新鮮な地元食材の提供を行っており、観光客の憩いの場となっています。

市街地から車で5分程のところには「六花の森」があり、ハマナシやエゾリンドウなどの草花が季節ごとに花開き、清らかな小川が流れる豊かな自然環境の中、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



更別村



村長：西山 猛

Data

郵便番号：089-1595
住所：更別村字更別南1線93番地
TEL：0155-52-2111 FAX：0155-52-2812
URL：https://www.sarabetsu.jp/

アイヌ語の「サラ・ペツ」で「葎や茅の生い繁るところ」を意味している。

■主なイベント

- さらべつすももの里まつり(5月)
- 全日本ママチャリ耐久レース(7月) ○さらべつ大収穫祭(10月)
- ときめきイルミネーション(12月～2月)

■特産品

- つぶつぶでんぷん ○ポテトチップス ○すもものむヨーグルト
- さらべつさんうどん ○さらのうキーマ(レトルトカレー)

■観光名所

- 道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」 ○十勝スピードウェイ
- どんぐり公園(すももの里・パークゴルフ場等)
- さらべつカントリーパーク(オートキャンプ場)
- 農村公園(大型遊具)



霧氷

「北海道の背骨」と呼ばれる日高山脈が一望でき、緑の大地と十勝晴れの澄んだ青空がよく似合う十勝平野の真ん中にある更別村は、とち帯広空港から車で約10分、東京へのフライトは1時間30分と、日帰りも可能な「首都圏域と隣接した田園」のイメージにピッタリの村です。

農家1戸当たりの耕作面積は約50ha、トラクター所有台数は約6台と国内最大規模の大型農業の村です。また、54ホールの公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」、市街中心部にある大型遊具、熱中小学校のある地域創造複合施設などの施設や、全国からカメラマンが訪れるほど幻想的な「霧氷」の美しいポイントがあります。



すももの里



大樹町



町長：酒森 正人

Data

郵便番号：089-2195
住所：大樹町東本通33
TEL：01558-6-2111 FAX：01558-6-2495
URL：https://www.town.taiki.hokkaido.jp/

アイヌ語の「タイキウシ」で「大木が群生するところ」を意味している。

■主なイベント

- 歴舟川清流こいのぼり(4月下旬～5月上旬)
- 砂金掘探訪会(7月下旬) ○歴舟川清流まつり(8月上旬)
- 柏林公園まつり(9月中旬)

■特産品

- ナチュラルチーズ ○じゅんさい ○大樹だいこん
- 秋鮭 ○ししゃも ○毛がに

■観光名所

- カムイコタン ○ホロカヤントー周辺 ○晩成温泉
- 萌和山森林公園 ○坂下仙境 ○晩成社史跡
- 大樹町宇宙交流センター SORA

■ご当地グルメ

- 大樹チーズサーモン丼



多目的航空公園

清流日本一に過去14回選ばれ、砂金掘りが楽しめることから宝の川と称される「歴舟川」が町内を流れています。町の東側太平洋沿岸には“海に見えるヨードの温泉「晩成温泉」”があり、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

また、臨海部に整備されている「大樹町多目的航空公園」では航空宇宙関連実験が数多く行われており、航空宇宙関連の展示施設「大樹町宇宙交流センター SORA」には、多くの方が訪れます。令和3年4月より「北海道スペースポート」が本格稼働するなど、宇宙のまちづくりによる地域活性化を目指しています。



砂金掘探訪会



広尾町



町長：村瀬 優

Data

郵便番号：089-2692

住所：広尾町西4条7丁目1

TEL：01558-2-2111 FAX：01558-2-4933

URL：https://www.town.hiroo.lg.jp/

アイヌ語の「ピルイ」が語源といわれ、「ピ」は「石が転がる」、「ルイ」は「砥石がとれる地」という意味。

毎日がクリスマス「広尾サンタランド」



■主なイベント

- 広尾つつじまつり（5月中旬）
- 十勝港海上花火大会（8月上旬）
- サンタランドツリー点灯式（10月下旬）
- 広尾毛がにまつり（12月上旬）

■特産品

- 海産物（シシャモ・毛がに・鮭・昆布・ウニ・マツカワ ほか）
- 水産加工品（魚の一夜干し・珍味・イクラ・大トロいわし ほか）
- 農産物（牛肉、牛乳、鹿肉ジビエ ほか）
- 町産木材「広尾サンタランド・ウッド」を使用した木工品

■観光名所

- 広尾サンタランド（大丸山森林公園）
- 十勝神社（丸山公園）
- シーサイドパーク広尾（海洋博物館・キャンプ場）
- フンベの滝（黄金道路）
- サーフィンスポット



広尾町自慢の海の幸



十勝港海上花火大会



日高山脈を背にした十勝の海の玄関「十勝港」

太平洋や日高山脈などの豊かな自然に囲まれた十勝最南端のまち・広尾町は、2018年に開町150年を迎え十勝で最も歴史が古く、サンタクロースの故郷であるノルウェーから国外初・日本唯一の「サンタランド」に認定されています。

令和3年度からは「海・山・川が織りなす、希望が灯るサンタランド・ひろお」をキャッチフレーズとした「第6次広尾町まちづくり推進総合計画」に基づき、特色ある重点プロジェクトをはじめとする新しいまちづくりを進めています。



幕別町



町長：飯田 晴義

Data

郵便番号：089-0692

住所：幕別町本町130番地1

TEL：0155-54-2111 FAX：0155-54-3727

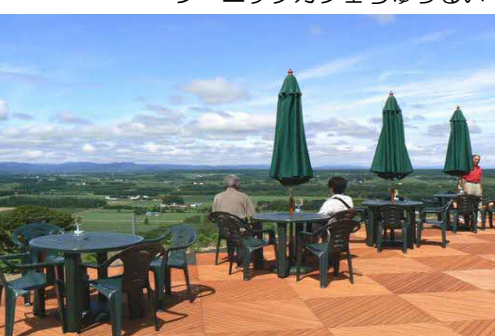
URL：https://www.town.makubetsu.lg.jp/

アイヌ語の「マクウンペツ」が転訛したもので「山際を流れる川・後川」を意味している。

パークゴルフ



シーニックカフェちゅうるい



■主なイベント

- 忠類ナウマン全道そり大会(2月)
- パークゴルフ国際大会(6月)
- まくべつ夏フェスタ(7月)
- まくべつ産業まつり(10月)
- 忠類どんとこいむら祭り(10月)

■特産品等

- どろぶた（メンチカツ、ハンバーグ）
- 十勝大福
- 黒豆きなこ
- 食用ゆり根
- 和稔じょ
- インカのめざめ
- 焼酎インカの目覚め
- ニラ
- 長ねぎ
- レタス

■観光名所

- 忠類ナウマン象記念館
- シーニックカフェちゅうるい
- ピラ・リ(明野ヶ丘公園)
- 丸山展望台
- 道の駅(忠類)
- 千代田新水路魚道観察室(ととろへど)
- 十勝ヒルズ

■その他

多数のオリンピック代表選手やプロスポーツ選手等を輩出

幕別町は、「パークゴルフ」発祥の地、「ナウマン象」の化石骨が発掘された地として知られており、市街地を一步出ると、広大な農地と牛が草を食む風景、「北海道の背骨」と言われる日高山脈などの美しい景色を楽しむことができます。おいしい食べ物、おいしい水、おいしい空気の幕別町へぜひ足をお運びください。



池田町



町長：安井 美裕

Data

郵便番号：083-8650
住所：池田町字西1条7丁目11番地
TEL：015-572-3111 FAX：015-572-5158
URL：https://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/

明治29年に鳥取藩主の池田侯爵が開設した池田農場が町名の由来となっている。

ワイン城



秋のワイン祭り



■主なイベント

○いけだ夏まつり(8月) ○秋のワイン祭り(10月)

■特産品

○十勝ワイン・ブランデー ○いきがい焼き ○いけだ牛
○ネバリスター ○つくねいも

■観光名所

○ワイン城 ODCT garden IKEDA
○清見ヶ丘公園 ○千代田えん堤
○十勝まきばの家

池田町はワインを中心とした町づくりを行っており、ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」は、国内初の自治体ワインとして誕生しました。小高い丘に建つワイン城では、優しく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

また、毎年10月第一日曜日に開催される「池田町秋のワイン祭り」は、北海道を代表する食イベントの一つとして知られています。会場では赤・白・ロゼの十勝ワインが飲み放題、道産牛の炭火焼きが食べ放題のほか、池田町産牛の丸焼きが6基(3頭分)提供されます。



豊頃町



町長：按田 武

Data

郵便番号：089-5392
住所：豊頃町茂岩本町125番地
TEL：015-574-2211 FAX：015-574-3750
URL：http://www.toyokoro.jp/

「トエコロ」(大きなフキが生えていたところ)や「トイ・コロ」(土多く礫少ないところ)等のアイヌ語が語源とされています。



ジュエリーアイス

■主なイベント

○とよころ夏まつり(8月)
○「海と大地の祭典」とよころ産業まつり(9月)

■特産品

○大津産秋鮭 ○わかさぎの佃煮 ○食肉加工品
○酔い頃(むらさきいも焼酎)

■観光名所

○はるにれの木(十勝川河川敷) ○長節湖 ○湧洞湖
○ジュエリーアイス(大津海岸、冬期間限定)
○茂岩山自然公園林間キャンプ場 ○茂岩山パークゴルフ場
○とよころ物産直売所(4月末から11月中旬までの金・土・日)
○長節湖キャンプ場

十勝川の最下流に位置する十勝発祥のまちです。町のシンボルとなっている樹齢150年の「はるにれ」は2本の木が一体化した美しい姿が人気で多くの観光客が訪れます。また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを大いに堪能できます。近年は大津海岸の「ジュエリーアイス」が注目を集めています。



とよころ産業まつり



とよころ物産直売所



はるにれの木



ジュエリーハウス

本別町



町長：佐々木 基裕

Data

郵便番号：089-3392
住所：本別町北2丁目4番地1
TEL：0156-22-2141 FAX：0156-22-3237
URL：https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/

アイヌ語の『ボン・ペツ（小さい川）』を語源とし、本別市街地で利別川と合流する本別川から名付けられました。道の駅「ステラ★ほんべつ」では、本別町のゆるキャラ「元氣くん」が入り口で多くの観光客を出迎え、町内特産品の販売や、観光情報を発信しています。また、道東自動車道のインターチェンジや、釧路方面と北見方面への分岐点もあり、道東圏と道央圏を結び交通の要衝となっています。



義経の里本別公園

■主なイベント

- 本別山溪つつじ祭り(5月) ○夜でかけナイト(6月～9月)
- 樽生ビアー彩(7月) ○本別きらめきタウンフェスティバル(9月)
- ツリーフェスティバル(10月) ○豆まかナイト(1月)
- 道の駅ステラ★ほんべつ冬あかり(2月)

■特産品

- キレイマメ（豆製品ブランド） ○生豆 ○豆加工品
- スイーツ ○納豆 ○乳製品 ○肉・肉加工品

■観光名所

- 義経の里本別公園（ボート・交通公園ゴーカート・キャンプ場）
- 本別大坂（国道274号）から望む夜景
- 道の駅「ステラ★ほんべつ」



道の駅「ステラ★ほんべつ」



交通公園ゴーカート



豆まかナイト



きらめきタウンフェスティバル

足寄町



町長：渡辺 俊一

Data

郵便番号：089-3797
住所：足寄町北1条4丁目48番地1
TEL：0156-25-2141 FAX：0156-25-2488
URL：https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/

アイヌ語の「エシヨロ・ペツ」、「沿って下る川」を意味し、釧路方面からこの川沿いに十勝や北見に出たというのが定説。



オンネトー

■主なイベント

- 足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会(8月)
- オンネトー物語(9月)

■特産品

- 螺湾（らわん）ブキ
- 豆類 ○木質ペレット
- チーズ

■観光名所

- オンネトー ○雌阿寒岳
- 足寄動物化石博物館
- あしよろ銀河ホール21（道の駅）



螺湾（らわん）ブキ

足寄町は十勝の東北部に位置し、1,408.04km²の広い面積を有しています。この広大な大地では、東京ドーム約270個分の面積を持つ大規模草地育成牧場や独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトー、高さ2～3mにもなる螺湾ブキなど、豊かな自然が育まれています。

先人から継承した緑豊かな大地という貴重な財産を後世に継承しながら、町民全てが心穏やかな毎日を過ごせるよう、人と自然にやさしい地域社会を考えて様々な事業が推進され、活力ある町の基盤が整えられています。子どもも大人も、そしてお年寄りも、全ての人々が「この町に住んでよかった」「この町に生まれてよかった」「このままこの町に住み続けたい」と思える、ふれあいのあるまちづくりが進められています。



陸別町



町長：野尻 秀隆

Data

郵便番号：089-4311
住所：陸別町字陸別東1条3丁目1番地
TEL：0156-27-2141 FAX：0156-27-2797
URL：https://www.rikubetsu.jp/

アイヌ語で「鹿のいる川」または「危ない高い川」という意味の「リクンベツ」に由来しているといわれている。



ふるさと銀河線りくべつ鉄道

■主なイベント

○しばれフェスティバル(2月) ○オフロードレース(5月、8月)
○ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり(7月)

■特産品

○山菜(山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他) ○りくべつ鹿カレー
○りくべつ鹿ジャーキーなどの鹿食品ブランド ○りくべつ低温殺菌牛乳
○しばれくん・つららちゃんおまんじゅう、おせんべい
○りくべつミルクのおあずけプリン

■観光名所

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ○銀河の森天文台
○銀河の森コテージ村

銀河の森天文台



しばれフェスティバル



陸別町は豊かな自然に恵まれた林業と酪農の街です。また、「寒さ」「星」をテーマとしたまちづくりに力を入れています。日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、道の駅「オーロラタウン93りくべつ」に併設されている「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、運転体験や、乗車体験などで、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として注目を集めています。



浦幌町



町長：水澤 一廣

Data

郵便番号：089-5692
住所：浦幌町字桜町15番地6
TEL：015-576-2111 FAX：015-576-2519
URL：https://www.urahoro.jp/

アイヌ語の「オーラポロ」が転訛して浦幌となり、「オー」は川尻、「ラ」は草の葉、「ポロ」は大きいで「川尻に大きな葉が生育するところ」と言われている。



ふるさとのみのり祭り

■主なイベント

○うらほろマラソン(7月) ○ふるさとのみのり祭り(9月)

■特産品

○行者ニンニク加工品 ○鮭とば ○浦幌牛乳 ○ハマナスオーガニックコスメ

■観光名所

○うらほろ留真温泉 ○うらほろ森林公園 ○道の駅うらほろ
○昆布刈石展望台 ○豊北原生花園 ○Ouralaa park urahoro

浦幌町は帯広市と釧路市のほぼ中間の位置にあり、食糧自給率が2,900%と1次産業が非常に豊かなまちです。地域に根ざした子どもたちの学びのプロジェクト「うらほろスタイル」事業の成果として、3年連続で20代の人口が増えており、未来に繋がる動きが展開されています。

また、近年では首都圏の企業や企業人との連携が加速しており、持続可能な地域づくりに向けた新たな事業を進めています。

浦幌町役場職員の一員となって、ワクワクしながら共に未来を拓いていきませんか？



うらほろ留真温泉



昆布刈石展望台



uralaa park urahoro



rosa rugosa